

大口径、パネル取付用の大型・標準交流電流センサ

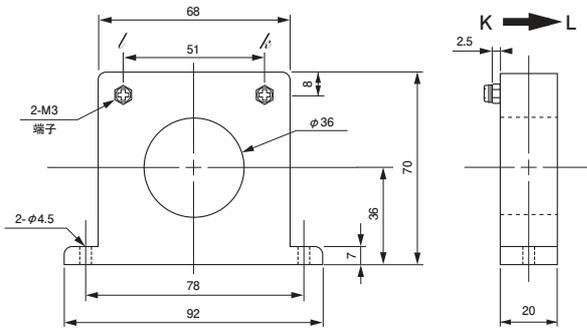


型式 CTL-36-S56-10B1

〔特長〕

- 貫通穴径φ36の大口径、大型の標準電流センサ。
- 適用電流最大800Aで、一般計測用CTL汎用シリーズの最上位機種。
- 1000：1の高変流比で、二次電流が小さく、直接電子回路へのインターフェースが可能。
- 出力：M3-ネジ端子、取付穴：2-φ4.5と、大型の盤内組込に適した堅牢な構造。

〔外形図〕

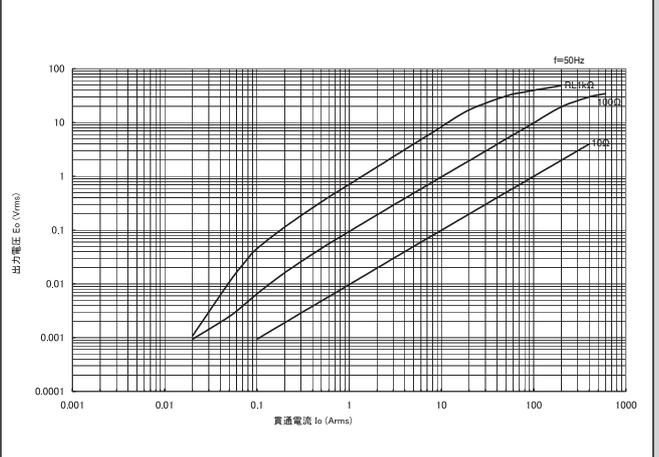


〔仕様〕 Ta=25°C

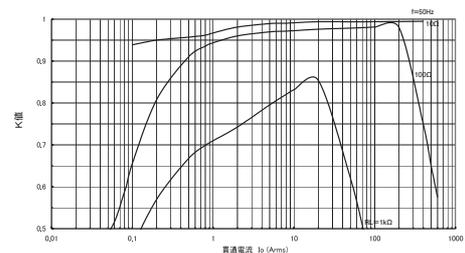
型式	CTL-36-S56-10B1
適用電流	0.1～800Arms (50 / 60Hz)、 $R_L \leq 10\Omega$
最大許容電流	600Arms連続
飽和限界電流	2000Arms (50 / 60Hz)、 $R_L \leq 1\Omega$
出力特性	出力電圧特性図参照
直線性	結合係数 (K) 特性図参照 (リニアセンサとしての利用は (K) 特性がフラットな領域を使用してください。)
二次巻数 (n)	1000±2ターン
二次巻線抵抗	8.6Ω (参考値)
耐電圧	AC2000V (50/60Hz)、1min (貫通穴-出力端子-括間)
絶縁抵抗	DC500V、 $\geq 100M\Omega$ (貫通穴-出力端子-括間)
使用条件	-20°C～+75°C、 $\leq 80\%RH$ 、結露のないこと
保存条件	-30°C～+90°C、 $\leq 80\%RH$ 、結露のないこと
構造	ABS樹脂ケース、エポキシ片面充填封止
出力端子	M3×5ℓ (BSネジ端子)
ネジ締めトルク	M4：0.7N・m、M3：0.3N・m
質量	約180g

- 備考 (1) 出力電圧は、貫通電流／負荷抵抗／結合係数 (K) 等のパラメーターにより変化します。各特性図をよく吟味して使用条件を設定してください。
- (2) 結合係数 (K) 値が0.9以下での使用は製品個体差が出やすい領域となるため、十分なマージンを持ってご使用ください。
- (3) 通電中の二次側開放は高電圧が発生する場合があります危険ですし、故障の原因になります。
- (4) 電力計測をお考えの場合は、必ず弊社技術相談窓口へ直接ご相談ください。
- (5) 基本的には50/60Hzでご使用いただく製品ですが、高周波でご使用の場合は、CTの発熱にご注意ください。

〔出力電圧特性〕



〔結合係数 (K) 特性〕



(負荷抵抗と貫通電流から (K) を読み取り出力電圧が計算できます。)  
 $E_o = K \cdot I_o \cdot R_L / n$  (Vrms)

〔周波数特性〕

